

秋の叙勲受章おめでとうございます

旭日小綬章【地方自治】



遠藤 忠さん
(木幡)

大田原高校長、矢板市教育長などを歴任されました。2004年からは3期12年、矢板市長を務められました。

旭日単光章【農業振興】



内田 紀吉さん
(土屋)

矢板市農業委員会会長や市農業振興地域整備促進協議会会長を歴任されました。

瑞宝小綬章【地方自治】



中村 修さん
(玉田)

1964年、県職員となり、農務部次長、同部長を歴任されました。県農業振興公社理事長、矢板市副市長も務められました。

瑞宝単光章【警察功労】



関谷 義夫さん
(末広町)

1965年、県警に入り、主に地域、警務、刑事部門を歩まれました。2007年、矢板警察署警務課で退職されました。

瑞宝単光章【警察功労】



相馬 光さん
(末広町)

1965年、県警に入り、主に地域、交通部門を歩まれました。2003年、黒磯署地域課で退職されました。

市政功労者表彰受賞おめでとうございます

11月1日(水)、文化会館小ホールで市政功労者に対する表彰式が行われました。

受賞された皆さんは、長年にわたり、各分野でご活躍された方、篤行に優れた方、市に寄付をされた方で、市長からはこれまでの功績に対する感謝の言葉とともに表彰状が手渡されました。

【市政功労表彰】(順不同・敬称略)			
各分野で功労顕著な方			
江連 茂	消防	大塩 壽郎	民生委員
神長 准一		小野崎 幸	
和田 安司		松本 勝代	
高瀬 英誠	市議会議員	黒崎 芙美子	保護司
守田 浩樹		大塩 壽郎	
江部 和榮	選挙管理委員会委員	廣瀬 徹	文化財保護審議会委員
柳田 実	農業委員会委員	君嶋 通夫	
金子 光子	人権擁護委員	池田 斉	国民健康保険運営協議会委員
笹沼 卓夫			
伴 敏子			
篤行に優れた方			
木村 壽子	援護厚生	和氣 敏男	福祉ボランティア
瀧澤 和枝		藤田 啓子	社会福祉施設への慰問
海瀬 幸子		大正琴芙蓉の会	
揚石 友子	環境美化活動	たかはら	自主防犯活動
菊地 進		パトロール隊	
市に対して寄付された方			
齋藤 修		高原基金	



10/19 (木) 西小でサツキ教室

西小学校で、「サツキ教室」が開催されました。朝の活動に「みどりの時間」を設けてい.る西小学校では、市内で盆栽教室を行う県卓月会矢板支部長の見形先生と生徒さんを講師に迎え、毎年、全校児童が参加する「サツキ教室」を開催しており、今回で4回目を迎えます。この日は、雨だったため昇降口で、昨年挿し芽をした山東華、星の輝など数種類のサツキを一回り大きなポットに植え替えました。丁寧な指導を受け、作業を終えた児童たちは、大事そうにサツキのポットを抱えていました。



10/20 (金) 福祉避難所協定

市役所で、「災害時等における福祉避難所の設置運営に関する協定書」の調印式が行われました。この協定は、災害が発生した場合などに、協定を締結した法人が運営する福祉施設内に福祉避難所を設置することで、介護等の支援が必要な方が安心して避難生活を送れるような環境を整備することを目的としたものです。本内容の協定を結ぶのは、平成27年に4法人と締結して以降2回目。今回、新たに5法人と協定を締結したことで、計203人の要支援者受入が可能となりました。



▲(左から)
・(医)湘風会 人見施設長・
(医)為王会 田中事務長・
齋藤市長・ニチイケアセンター矢板 河上センター長・(株)TLC 市川代表取締役・(有)マイホームコリーナ 松本代表取締役

10/21 (土) 泉地域ふれあい祭り

泉公民館で、「第22回泉地域ふれあい祭り」が開催されました。あいにくの天気ではありましたが、焼きそばやつくたてお餅の販売、バザーなどが行われ、年に一度のお祭りに多くの方が集まりました。また、公民館の2階で開かれた泉中学校の生徒によるゲームコーナーのおけ屋敷には長蛇の列ができ、にぎわいを見せました。22日(日)にかけては「第37回泉地区作品展」が開催され、泉保育所の園児や公民館講座生の作品など、多くの作品が展示され、訪れた方の目を楽しませました。



10/21 (土) 塩田ダムでカヤック体験

塩田ダムで、環境文化都市やいた創造会議主催の「水辺の生き物調べ&カヤック体験会」が開催されました。このイベントは、市内の自然環境を再認識し、体感してもらうことを目的に、昨年より実施されています。当日は、時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、市内外から親子連れ36人が参加し、元気にヤマメやニホンアカガエル、ミズカマキリなどを捕まえ観察を行いました。その後、特別に開放された塩田ダムでカヤック体験を楽しみました。



10/23 (月) 県老連スポーツ大会優勝

市内の予選会を突破し、矢板市代表として「県老連スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ大会」に出場した富田シニアクラブの皆さんが、市長を表敬訪問しました。富田シニアクラブは、団体戦で2連覇を果たしたほか、個人戦でも昨年の高橋さんに続き、村松さんが優勝し、同じチームから2年連続で優勝者を輩出しました。市長からは「団体・個人戦ともに2年連続で優勝というのは、すばらしい成績。3連覇を目指してがんばってください」との励ましの言葉がありました。



▲(後列左から)
・岡本和夫さん・佐藤久男さん・佐藤孝子さん・高橋一吉さん・青木和明さん
(前列左から)
・村松節子さん・蜂巣会長・齋藤市長

10/24 (火) ミヤコタナゴを守ろう

山田地区のため池で、県関係機関協力のもと山田ミヤコタナゴ保存会を中心に生息状況調査が行われました。調査には泉小の児童など合わせて62人が参加し、池の生き物の種類や数などを調べたほか、池の泥上げなどミヤコタナゴが生息しやすい環境の保全活動を行いました。保存会の徳田会長は「ミヤコタナゴが昨年より減ったが、自然増減の範囲内ということで安心した。これから見守り、そして、地域の宝を次世代に引き継いでいきたい」と話してくれました。



10/25 (水) 厚生労働大臣表彰

優良老人クラブとして厚生労働大臣表彰を受けた沢長寿会が市長を表敬訪問しました。平成26年から地域全体での「あいさつ訪問」、一人暮らしや高齢者世帯への「見守り活動」を行い、その際、気になった方の心配情報をまとめた「地域支え合いマップ」を作成しました。行政区や民生委員と連携し、このマップを友愛訪問などに生かしていることが評価され、今回の受賞となりました。小口会長は「この表彰に恥じないよう、今後とも努力して取り組んでいきたい」と話してくれました。



▲(左から)
・市シニアクラブ連合会 坪山会長
・沢長寿会 小口会長
・齋藤市長

10/28 (土) やいたブランドフェア

29日(日)にかけて、道の駅やいたで、「やいたブランドフェア」が初開催されました。これは、やいたブランドのイメージ向上と認証品のPRを通して地域活性化につなげる目的で開かれたもので、矢板たかはら米が無料配布されたほか、認証品78品目の半数にあたる37品目、17店舗が軒を連ね、多くの方でにぎわいました。市外から訪れた方は「こんなにたくさんの魅力的な商品が矢板にあるとは知らなかった。試食もおいしかったので、買って帰ろうと思う」と話してくれました。



11/3 (祝・金) 秋のお祭り大集合！

市役所周辺で、「第40回福祉まつり」「健康まつり」「第9回秋祭りを楽しもう」「矢板地区子ども会まつり」「第50回矢板市文化祭」「図書館まつり」が同時開催されました。市では、市制施行日の11月1日を「市民の日」として定め、市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、祝日の11月3日に多くのイベントを開催しています。当日は、子どもからお年寄りまで多くの方が会場を訪れ、模擬店やステージアトラクションなどを楽しみました。各イベントでは、中学生をはじめとするボランティアのみなさんが活躍し、笑顔あふれる一日となりました。



11/3 (祝・金) 一日市長体験

市役所で、黒川ゆずかちゃん(2歳)が「一日市長」に任命されました。ゆずか市長は、「つつじの郷やいた花火大会2017」で開催された仮装大会「やいた de ハロウィン」の子どもの部で優勝し、その賞品として、福祉まつりで「一日市長」を体験することになりました。ゆずか市長は、市民の皆さんに就任のあいさつをしてまわり、その後、市長室において、1年間の期間限定の特別条例として、第2土曜日には市内で外食をすることを推奨する「外食条例」を制定しました。



11/5 (日) かたおか軽トラ市

片岡駅西口通りで、「かたおか軽トラ市」が開催されました。軽トラ市は、軽トラックの荷台を利用し、販売を行うもので、市内ににぎわいを創り出そうと商工会が企画・開催しています。片岡での開催は今回で2回目、県下最大級の72台が出店しました。当日は、市内外から約15,000人の方が来場し、各店舗をまわって行うスタンプラリー、無料苗木配布会、矢板高校のPRブース、特設ステージでの吹奏楽やバンド、お囃子演奏など、イベントも大いに盛り上がりしました。



11/5 (日) 在宅医療を考える

文化会館小ホールで、「第3回市民公開講座」が開催されました。これは、在宅生活を続けるための支援である在宅医療や介護保険制度について、市民の皆さんにわかりやすく伝えるために開催されたものです。第1部では、介護保険制度の特徴や利用までの流れについての説明、第2部では、那珂川町の佐藤医院・佐藤充院長を講師に迎え、「在宅医療という選択」と題し、基調講演をしていただきました。将来、自分自身や家族に関わってくる問題に真剣に耳を傾けている様子でした。



11/5 (日) 消防まつり初開催！

文化会館大ホールと駐車場で、「第1回消防まつり」が開催されました。これは、安全・安心な地域づくりと消防団への関心・理解を深めること、さらに消防団員の入団促進を目的に、消防署、市消防団、ボランティア団体との共催により初開催されたものです。当日は、多くの親子連れが訪れ、炊き出し・非常食の試食や消防車両の試乗、水消火器体験などを行いました。また、大ホールでは、チャリティージャズライブ、講演会が開催され、防災意識を高めるよい機会となりました。



11/12 (日) 一文字に思いを込めて

文化会館小ホールで、「第9回一文字書道コンクール」の表彰式が行われました。このコンクールは、毛筆書道という伝統文化の継承により、日本文化の発展に寄与することを目的に、書家の柿沼翠流氏を中心に企画・開催されているものです。コンクールにあわせ、エコモデルハウスでは、九州北部豪雨の被災地を支援するためのチャリティーイベントが開かれ、柿沼氏は来場者からリクエストされた「一文字」を思いを込めて色紙に書き入れていました。



▲ 全国から寄せられた応募作品2,607点のうち、市内からは準大賞に矢板中3年の根本佳苗さん、特選にも多くの方々の作品が選ばれました。

11/13 (月) ジュニアオリンピック

10月28日(土)に横浜市の日産スタジアムで行われた「第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会」に出場した、片岡中2年・中郷成生さんと、矢板中1年・福田蒼依さんが出場報告のため、市長を訪問しました。中郷さんは、砲丸投げで第6位、福田さんは走り幅跳びで第4位となり、上位入賞を果たしました。2人は「不安だったが全国大会で良い成績を残すことができ、とてもうれしい。来年も出場できるよう練習をがんばりたい」と話してくれました。



▲ 中郷さん(写真上)砲丸投げで14.03mを記録し6位入賞
福田さん(写真下)走り幅跳びで5.29mを記録し4位入賞